

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 高 見 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学)

教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

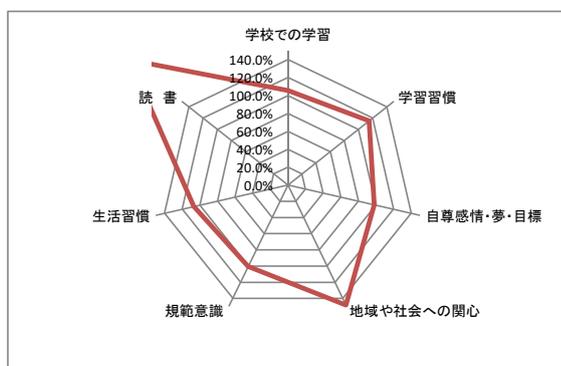
(1) 全国・本市の学力調査（国語，数学）の結果

| 本年度の結果 | 国語 | | 数学 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 平均正答数 | 平均正答率 | 平均正答数 | 平均正答率 |
| 本市 | 8.8 | 63 | 8.8 | 55 |
| 全国 | 9.0 | 65 | 9.1 | 57 |

(2) 本校の学力調査結果の分析

| | | | |
|----|-------------|---|-----------------------|
| 国語 | 全体的な傾向や特徴など | 全般的に、良好な成果が見られました。特に、国語への関心・意欲・態度に関する問題が好成績でした。 | 全国平均正答率との比較 同程度である |
| | よくできた問題 | 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ問題 | |
| | 努力が必要な問題 | 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落の関係に注意して書く問題 | |
| 数学 | 全体的な傾向や特徴など | 成果が十分に見られました。どの領域も全国平均を上回っています。記述式の問題は顕著な成績を収めています。 | 全国平均正答率との比較 上回っている |
| | よくできた問題 | 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題 | |
| | 努力が必要な問題 | 問題場面における考察の対象を明確に捉える問題 | |

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



| 質問紙調査の結果分析 |
|--|
| 学習・生活習慣に関する質問項目ともに、良好な結果が見られました。特に、計画的に家庭学習に取り組むこと、授業の話し合い活動における充実感では、ご家庭と学校での様々な取り組みの成果が見られたと考えています。さらに、読書に親しむ生徒が多いことも本校の特徴で、全国平均と比べても特筆に値します。また、自尊感情に関する質問では、頑張っていることを自信を持って受け止めることができていない傾向も見られました。 |

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

新学習指導要領全面実施を踏まえ、特別な教育的支援の視点を重視し生徒一人一人に応じた『わかる授業』、主体的に学びに向かう効果的な学習指導、指導と評価の一体化による学力の向上に取り組めます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

引き続き、授業とつながる家庭学習の定着と学び合いの基盤づくりを推進します。また、保護者との良好な人間関係による信頼の構築にも努めていきます。